

第5回「関西スポーツ応援企業表彰」の受賞企業・審判員の決定について

関西広域連合・関西経済連合会では、従業員のスポーツ活動の促進に向けた取組やスポーツ分野における社会貢献活動等を通じ、スポーツ振興や地域経済活性化に貢献している企業等を表彰する「関西スポーツ応援企業表彰」を行っています。

この度、第5回「関西スポーツ応援企業表彰」の受賞者を下記のとおり決定しました。第5回では、企業で働きながらスポーツ活動を支える審判員の表彰を新たに実施しました。

記

1 受賞企業

- <大 賞> あいおいニッセイ同和損害保険 株式会社**
- <スポーツ振興賞> 株式会社 松源**
- <地域振興賞> グローリー 株式会社**
- <健康経営賞> 株式会社 島津製作所**
- <特 別 賞> ペタビット 株式会社**

2 受賞審判員

- 健栄製薬株式会社 細見 竜太 氏**（大阪府バスケットボール協会 推薦）
- 中野製薬株式会社 前川 敦彦 氏**（京都陸上競技協会 推薦）
- 山陰化成工業株式会社 谷野 正和 氏**（鳥取県バレーボール協会 推薦）
- 社会福祉法人新しいなば幸朋苑 小坂 綱史 氏**（鳥取県空手道連盟 推薦）
- 株式会社マキテック 坂井 元直 氏**（三重県バスケットボール協会 推薦）

※受賞者の概要と受賞理由、関西スポーツ応援企業表彰の概要については別紙1～3を参照ください。

以 上

「関西スポーツ応援企業表彰」の概要

(1) 表彰制度の目的

従業員のスポーツ活動の促進に向けた取り組みやスポーツ分野における社会貢献活動等を通じ、スポーツ振興や地域経済活性化に貢献している企業、および、健康経営の実践による従業員の健康維持・増進に取り組んでいる企業、企業所属の審判員を「関西スポーツ応援企業」として表彰し、広く周知することにより、企業におけるスポーツ活動を推進するとともに、スポーツへの参加に対する社会的機運の醸成を図り、「生涯スポーツ先進地域関西」の実現を目指す。

(2) 実施主体

主 催：関西広域連合、関西経済連合会

共 催：関西スポーツ振興推進協議会

特別協力：ワールドマスターズゲームズ 2021 関西組織委員会

(3) 表彰対象

関西の2府8県（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、三重県、福井県）に本社・支社または事業所が所在する企業、社会法人、財団法人、学校法人等

(4) 各賞の評価の視点

大 賞	スポーツ振興賞・地域振興賞・健康経営賞の1位から選定（「大賞」に選ばれた賞は、2位を繰り上げ）
スポーツ振興賞	スポーツ振興への取り組みを評価。特に継続性や独自性、参加者数を優位に評価する。
地域振興賞	スポーツを通じた地域貢献への取り組みを評価。特に取り組みの継続性や独自性を優位に評価する。
健康経営賞	自社社員の健康増進のためにスポーツの実施促進への取り組みを評価。特に取り組みの継続性や独自性、参加者数または社内への浸透度合いを優位に評価する。
特 別 賞	大賞と上記3賞以外の企業から、「特徴のある取り組み」を評価。特に企業規模が小さい企業を優位に評価する。
審判員表彰	国際大会、全日本選手権等の審判実績及び活動歴（10年以上）を評価。

(5) 選考委員会 委員（委員は氏名五十音順）

委員長 山口 泰雄（神戸大学名誉教授）

委 員 伊坂 忠夫（大学スポーツコンソーシアム KANSAI 会長、立命館大学副学長・スポーツ健康科学部教授）

委 員 小倉 陽子（関西広域連合スポーツ部長）

委 員 奥野 史子（アスリートネットワーク副理事長、バルセロナオリンピック アーティスティック スイミング ソロ・デュエット銅メダリスト）

委 員 野崎 治子（関西経済連合会スポーツ振興委員長）

委 員 中塚 則男（ワールドマスターズゲームズ 2021 関西組織委員会事務局長）

委 員 柳本 晶一（アスリートネットワーク理事長、アテネ・北京オリンピック全日本女子バレーボールチーム監督）

第 5 回 「関西スポーツ応援企業表彰」

受賞企業の取り組み

2024年1月25日

関西広域連合
関西経済連合会

あいおいニッセイ同和損害保険 株式会社

大 賞

「地域密着によるスポーツ支援・パラスポーツ支援」

(本社：東京都 事業所：神戸市 業種：金融)

【アスリート雇用】



【社員による大会応援】



【小学校への出前授業】



【兵庫県たつの市でパラスポーツ体験会】



事業・活動内容

・2006 年、車いすバスケットボール日本代表チームの公式スポンサーとして支援をスタート。
その後、2014 年より日本パラスポーツ協会オフィシャルパートナーとなり本格的にスポーツ振興、とりわけパラスポーツ支援を重点的に取り組み、現在に至る。

・2015 年からスタートしたアスリート雇用も進展、
現在、パラアスリート13 名、健常者アスリート8 名の選手が在席業務と競技を両立。
(2022 年10 月時点)

・所属アスリートによる地域貢献（講演会や小学校出前授業講師など）を全国各地で実施。

2018 年度： 81 回

2019 年度： 83 回

2020 年度： 39 回（コロナ禍により縮小）

2021 年度：141 回

2022 年度：156 回

・社員による大会応援、特にパラスポーツ選手の応援を全国で実施。

（年間約20 回、1 回あたり平均100 名が参加）

スポーツ振興賞

「各種スポーツ大会の開催とジュニアアスリート・アスリートへの支援」

(本社：和歌山市 業種：小売)

事業・活動内容

・相撲競技、ホッケー競技、野球競技のアスリートを雇用。

1973 年マツゲン相撲部、1996 年にはマツゲン箕島硬式野球部を創設。

相撲部では「ふれあい相撲教室」、野球部では地域の少年野球チームに野球教室を開催するなど、スポーツ普及活動を実施。

・スポーツに参加する機会を創出し、スポーツ振興に貢献することを目的に以下大会に協賛。

和歌山カップ少年サッカー大会、

紀の国わかやま国体、

ワールドマスタースゲームズ関西(協力企業)、

全国大学・実業団対抗相撲和歌山大会、

和歌山ラグビーフェスティバル

【ふれあい相撲教室】



【野球教室】



地域振興賞

グローリー 株式会社

「グローリー小学生育成財団の活動」

(本社：姫路市 業種：機械)

事業・活動内容

・過去から国の将来を担う小学生の心身ともに健全な育成を願い、小学生を対象としたテニス、剣道等のスポーツ教室や大会を運営するなど、各種イベントを実施。

・1995年に「会社設立50周年」の記念事業の一環として、「財団法人グローリー小学生育成財団」を設立し、従来から実施してきた支援を継続・拡大。

2012年4月には、より公益な事業展開を図るため、「公益財団法人」の認定を受けた。

・財団として以下のスポーツ大会、スポーツ教室を実施、助成。

①小学生テニス教室、②小学生テニス大会、

③小学生剣道大会、④ヴィクトリーナ小学生バレーボール大会
また、兵庫県スポーツ少年団など兵庫県全域にわたって活動する各団体の連合組織への助成やスポーツ大会への協賛を実施。

連合組織に加入しない団体に対しても姫路剣道連盟が主催する剣道大会や西播柔道連盟が主催する柔道大会などの開催等の活動に助成を実施。

【小学生テニス教室】



【小学生剣道大会】



【ヴィクトリーナ小学生バレーボール大会】



健康経営賞

株式会社 島津製作所

「ミル・ミル・Genki を通じた社員の健康維持活動」

(本社：京都市 業種：精密機器)

事業・活動内容

・健康推進活動「ミル・ミル・Genki」

運動・食事・睡眠・こころ・禁煙の5つのテーマを重点課題として、社員とその家族が日々の生活をいきいきと過ごせるよう健康維持増進を目的に活動。

・スポーツイベントの開催

「SHIMADZU Breakers」として活動する当社テニス、ラグビー、野球の3クラブが、島津グループ社員とその家族の健康維持・増進のためにスポーツイベント「Breakers Sport Festival 2023」を開催した。現役選手およびOB・OGが指導するスポーツ教室も開講した。テニス、ラグビー、野球体験の機会を提供し、健康への意識を高めた。

・京都マラソンにオフィシャルパートナーとして協賛

島津グループから社員が出走。専門家による指導の様子を社内で共有し、社員の健康に対する意識を高めた。

【 Breakers Sport Festival 2023 】



【 テニス教室 】



【 従業員の京都マラソン参加 】



特別賞

ペタビット 株式会社

「ポップアスリートカップ（学童軟式野球全国大会）」

（本社：神戸市 業種：ITコンサルタント）

事業・活動内容

・社業であるITコンサルの技術を活用し、WEBサイト上で学童野球の情報を共有できる媒体を作成。全国のプレイヤーや保護者、関係者が瞬時に情報を共有でき、双方向で意思疎通できる仕組みを構築し“学童野球のDX”を実践

・当該WEBサイトの登録チームを集めて大会（ポップアスリートカップ）を実施。今年で第18回大会を迎え、参加チームは1440チームを超える自主対戦方式の大会に成長した。手作りの大会であることから、開会式・全国大会などのイベント開催時には、普段は当社で仕事をしている営業・デザイナー・エンジニアの他に全国各地のボランティアが参加。

・子どもファーストで進めている大会のため、全国規模の学童野球大会では唯一参加費が無料。ファイナルトーナメント（全国大会）は憧れのプロ野球選手が活躍する球場（明治神宮野球場等）で開催している。

【ポップアスリートカップ】



【参考情報】



サイト登録チーム
4,525チーム
※2023.12



サイト登録人数
約8万人
※2023.12



大会参加チーム数
1,442チーム
※17th



会員男女比
男 42%/女 58%
※2023.12



保護者の年代
30代～50代
※多い層のみ抜粋



全国大会会場
明治神宮野球場
※17th



LINE友達登録数
約3万8千人
※2023.12



インスタフォロワー数
約4,100人
※2023.12



冊子開幕号
21,000部
※17th



ファイナル特別号
1,200部
※17th

第5回「関西スポーツ応援企業表彰」

受賞審判員について

2024年1月25日

関西広域連合
関西経済連合会

健栄製薬 株式会社

細見 竜太 氏

▶ **保有資格**

☐ S級審判員

▶ **活動期間**

☐ 18年

▶ **主な審判実績**

☐ 2018 全日本大学バスケットボール選手権

☐ 2019 ウインターカップ

☐ 2021-22 B3リーグ

☐ 2022-23 B.LEAGUE

☐ 2023 男子第73回西日本学生バスケットボール選手権

中野製薬 株式会社

前川 敦彦 氏

▶ 保有資格

□世界陸連NTO、世界パラ陸上NTO、日本陸連公認審判員A級、日本パラ陸連NTO

▶ 活動期間

□13年

▶ 主な審判実績

□IAAF世界リレー2019 横浜大会

□TOKYO 2020 第32回オリンピック

□TOKYO 2020 第16回パラリンピック

□2023 第12回 ASEAN Para Games

□2023 皇后杯 第42回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会

山陰化成工業 株式会社

谷野 正和 氏

▶ 保有資格

☐ 日本バレーボール協会公認A級審判員

▶ 活動期間

☐ 21年

▶ 主な審判実績

☐ 2019 第72回全日本実業団男子選手権大会

☐ 2019 第89回全日本9人制バレーボール総合男子選手権大会

☐ 2022 第91回全日本9人制バレーボール総合女子選手権大会

☐ 2023 全日本9人制バレーボールトップリーグ

☐ 2023 天皇杯・皇后杯全日本選手権 県予選

社会福祉法人 新しいなば幸朋苑

小坂 綱史 氏

▶ 保有資格

- 全日本空手道連盟全国組手審判、全日本空手道連盟地区組手審判

▶ 活動期間

- 24年

▶ 主な審判実績

- 2021 第29回全国中学生空手道選手権大会
- 2022 JOCジュニアオリンピックカップ 未来くん杯第16回全国中学生空手道大会
- 2023 中国5大学空手道選手権大会
- 2023 JOCジュニアオリンピックカップ 未来くん杯第17回全国中学生空手道大会
- 2023 日本生命杯第2回全日本少年少女空手道選抜大会

株式会社 マキテック 坂井 元直 氏

▶ **保有資格**

☐ S級審判員

▶ **活動期間**

☐ 23年

▶ **主な審判実績**

☐ 2019 いきいき茨城ゆめ国体

☐ 2021 全国O-40大会

☐ 2016-23 B3リーグ

☐ 2016-23 B.LEAGUE